

1 学年通信

文京区立文林中学校第一学年
2019年6月14日(金)
第7号

☆運動会(5/25)の作文紹介☆

ゴールが見えない長距離走

僕は、ジャンケンで負けて長距離走の選手になってしまった。僕は、あまり運動をしていなかったで、スタミナが全然なかった。練習では、1200mでもうたくただった。ゴールが見えてこなかった。1番前にいた先輩はとても速くて、とても劣等感を感じた。僕は、しばらくたってから走り終わった人たちの声に励まされてゴールがだんだん見えてきた。

僕は、そのようにして練習を乗り越えた。だが、本番は1500m。さらに練習より暑かった。だから練習の何十倍もきつかった。そのかわり応援の声も本番なので何十倍もあった。僕は三度も声に励まされ、ゴールが見えてきて、そして、ゴールすることができた。その時に飲んだポカリはいつもの何十倍もおいしく感じた。

僕は、その時なぜゴールが見えなかったのか考えた。そうしたら、僕はこの距離が長いと思っていたからだと分かった。結局は気持ちの問題だったと分かった。

初めての運動会

運動会の楽しかったことは2つあります。

1つ目は実行委員会です。理由は初めて実行委員をして、分からなかったことが(多く)大変でした。だけど、2・3年生に聞いたら分かりました。

2つ目はみんなで力を合わせてやる競技が楽しかったです。理由は、初めての運動会だったけれど、みんなが一つになったからです。

初めての運動会で、実行委員が忙しかったけれどみんなを楽しませることができてよかったです。初めての運動会でみんなの力が合うかなと思っていたけれど、みんなで声を出して一つになれたから良かったです。運動会で一つになれたから、この一つがバラバラにならないようにしたいです。

これからの学校生活では、大変なことはたくさんあると思うけれど、みんなを楽しませることは大事なので大変なことでも向かっていきたいです。これからもみんなが一つになれるようにしていきたいです。

みんなが楽しんで運動会ができたので良かったです。



男子

男子

自分を成功させた運動会

女子

私は、文林中学校での運動会を楽しみにしていました。なぜかという、人数が少ないのでたくさん活躍できると思ったからです。

ですが、そのぶん覚えられないことがたくさんあったり、片付けや準備を全校生徒でやらないといけなかったし、係では座ってゆっくり見られる時間が一回しかなく、思ったよりもすごく大変でした。

人数が少ないからこそ、みんなで助け合いながら協力をして本番は大成功でした。

また、男子の1500m走で二年生がなかなかゴールできなかったときに「がんばって!」「もう少しだよ!」とチームがちがう生徒も応援していて、ゴールするときには、みんなが拍手をしていてとても感動しました。気づけば私も自然と拍手をしていました。文林中学校の生徒は優しいと改めて思った瞬間でした。

運動会は勝敗も大事だけれど、一人一人が自分の力を出し合い、助け合い、励まし合い自分を成長させる行事でもあるなと思いました。今回は初めてで、わからないこともあったけれど、来年は二回目の運動会になるので今回の経験を活かし、受け身ではなく、自分から率先して係などを頑張る運動会を大成功させたいです。



女子

努力の先にある光

初めての一年生としての運動会で、私は実行委員になりました。その中で、複学年種目での一年と三年を担当しました。最初はルールを考えたり、自分たちで試してみたり、大変なことはたくさんありました。私はあまり、他人に意見を言うのは難しい方だからこの仕事には向いていないと思っていました。でもそのとき、先輩が「意見は言えなくてもいいから、気付いたことがあったら教えてね」と言ってくれて、少し自信をもって話せるようになれました。そして私の意見が採用されたとき、とても嬉しかったです。実行委員会は午後六時半頃までやっていたこともあり、大変で正直「まだかな～」と思ってしまったときもありました。

また、私の運動会の係は本部でした。計時だとしてしっかり入退場を見ていないとメモに書けなかったり、黄旗を掲げるとき、5つの係が掲げる白旗をすべて確認してから本部が掲げる旗を掲げるので、プレッシャーがすごく緊張が尋常ではない気持ちでした。

運動会本番当日、私が担当した複学年種目も、みんなが指示を聞いてくれたから素早くでき、見ている人も面白いと言ってくれて、苦労してつくりあげたからこそその感動が生まれた気がしました。私は自信をつけてくれた三年生みたいになりたいです。

